

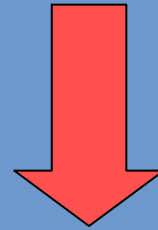
IHEを要求仕様書に利用する勘所

岡崎市民病院 奥田 保男



要求仕様書とは

ユーザがメーカーに
何をして欲しいかを伝えるためのもの



IHEを利用することで
要求仕様書の作成は簡単になるのか？

要求仕様書(実話)

導入するシステムは、以下のとおりであり、
全て『IHE』に完全準拠すること。

1. 医事会計
2. 電子カルテ
3. 放射線部門
4. 検査部門
5. 医療連携

以上

?「この仕様ではお受けできません!!」?

実話例に書かれていること

要求仕様書
(実話)



具体性がない

—幼稚園の発表会—
グリム童話をやりなさい



白雪姫

ブレーダンの音楽隊

最低限必要なことは？

- ・統合プロファイル
- ・アクタ
- ・トランザクション

IHEに記述されていること

統合プロフィール → シナリオ → 白雪姫物語 (SWF)

アクタ → 登場人物 → 白雪姫 (ADT)
女王 (OP)

トランザクション → セリフ → 「このリンゴをお食べ」
(MWM)

IHEに記述されていないこと

- ・セリフの言い回し → 「このリンゴをお食べ」
- ・大道具, 小道具



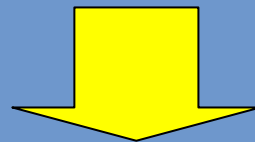
演出家 = 施設 (担当者) の考え方



IHEは画一化を目的とするものではない

ベンダを選ぶには

- ・統合プロファイル
- ・アクタ
- ・トランザクション



ベンダは？

企業の取り組み ピー・エス・ピー - IHE-J - Microsoft Internet Explorer

ファイル(F) 編集(E) 表示(V) お気に入り(A) ツール(T) ヘルプ(H)

戻る 検索 お気に入り

アドレス http://www.ihe-j.org/enq/e20/index.html

Google 検索 ブックマーク ブロック数: 223 チェック 翻訳 次へ送信 設定

infoseek Google検索 英和 和英 国語 ページ翻訳 ブログ 便利情報 ニュース お買い物

> [トップ](#) > [企業の取り組み](#) > ピー・エス・ピー

企業の取り組み

■ **ピー・エス・ピー株式会社(2006年6月現在)**

〒106-0031 東京都港区西麻布4-16-13 西麻布28森ビル
TEL:03-5485-1028 FAX:03-5485-2479 URL:<http://www.psp.co.jp/>

■ **Q1. いわゆる標準化技術に対してどのように考えていますか？
また、実際どのように取り組めますか。**

現在、画像診断および病院情報システム関連の技術の進歩は目覚ましい。
また、マルチベンダーシステム化が加速するなか、相互運用性において標準化技術の確立は必須であると認識しており、DICOM, HL7, IHEなど標準化の動向を積極的に把握し、標準化技術を的確に弊社開発製品の中に適用していきたい。

■ **Q2. 標準化対応の中でIHEをどのように考えていますか？
また、実際にどのように取り組んでいますか？**

IHEのユースケース別に、既存の標準の使い方を規定したIHEフレームワークと相互接続性試験(コネクタソン)は、ほかの標準化における取り組み方とは異なり意義深い。日本の医療施設におけるIHEによるマルチベンダーシステムの構築事例はまだ少ないが、医療施設間連携およびマルチベンダーシステム化に伴い、IHEはさらに重要なフレームワークとなることが期待される。

■ **Q3. マルチベンダーによるシステム構築は、放射線分野から電子カルテに広がる動きがあります。IHEでコネクタソンに参加した経験から、今後の電子カルテ普及におけるマ**

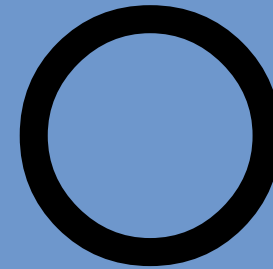
トップページ
IHE-J概要
What's New
IHE-J行事
IHE-J資料
導入施設
イベント募集
IHE-J委員会議事録
企業の取り組み
Q&A
IHE-J用語集
リンク集

http://www.ihe-j.org/enq/index.html

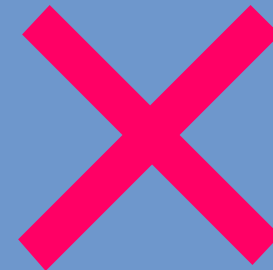
ページが表示されました インターネット

コネクタソンとは？

接続性の適合試験



必ず製品がある



IHEに記述されている範囲

ある部門システム (例えばRIS)

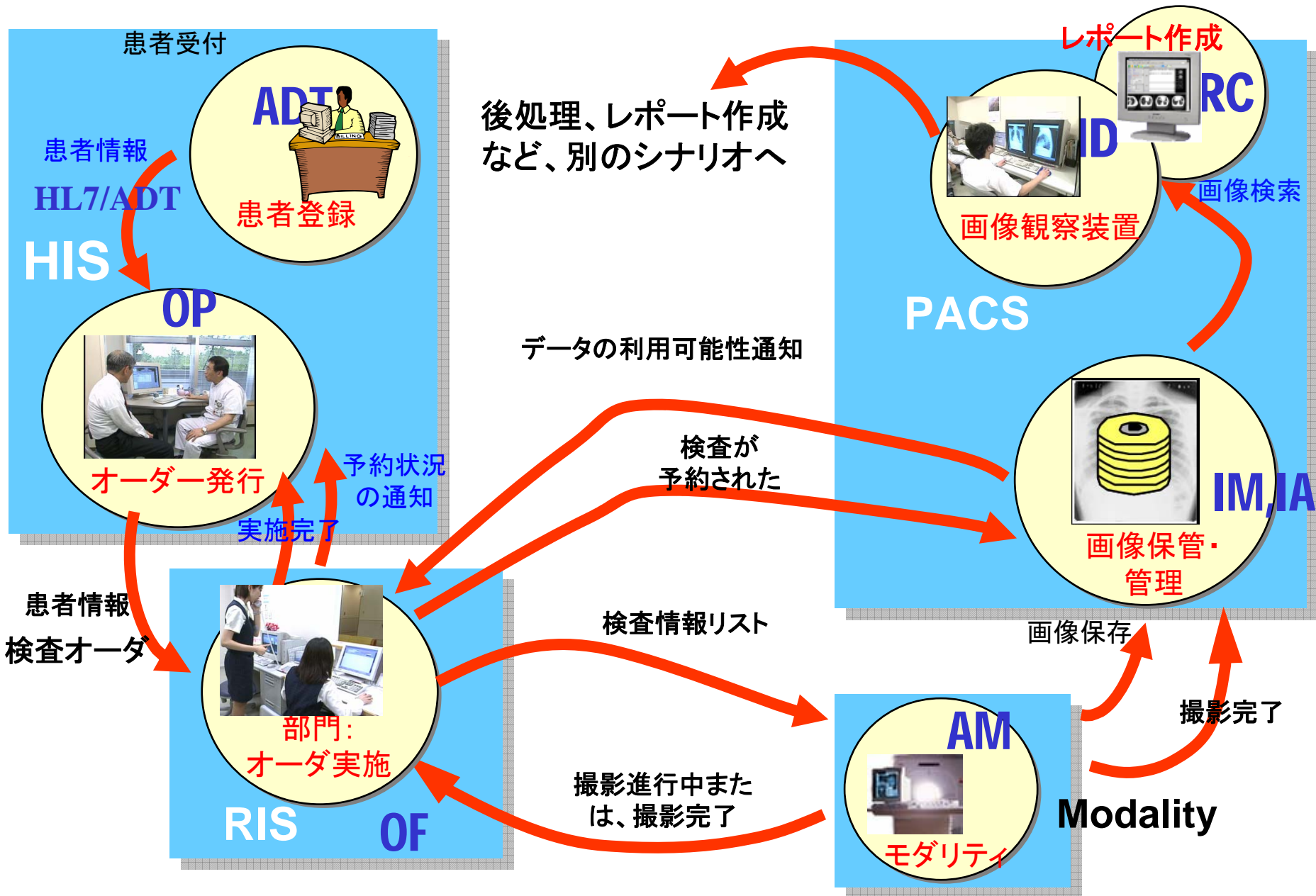
優れたユーザインターフェイス
各種統計
マスタ作成

IHEで
できる範囲



IHEはすべての要件を網羅したものではない

シナリオに書かれているすべてを行うの？



要求仕様書を書いてみよう！

IHEによるRFP例

<まえがき>

医療情報システムは、IHE-Jに基づき構築を行なうこと。

<範囲>

今回の構築範囲は、以下のプロファイルの範囲とする。ただし、モダリティなど既存のもので、対応することはできない部分は除くものとする。その他、不明瞭な部分に関しては、施設担当者との協議の上、システム構築を行なうこと。

- ・SWF
- ・PIR
- ・PDI

IHEによるRFP例

- 1.1.2 患者が新規に登録された場合の連携は、SWFに基づく情報連携を行なうこと。
- 1.1.3 放射線受付にて患者の受付処理を行なったタイミングで、OFからOPへステータス情報を送信し、これによりOPでのオーダ変更を不可とすること。ただし、この表現の仕方については別途協議すること。
- 1.1.5 RIS上のステータスは<未受付><受付済み><実施済み><呼び出し中><撮影中>とするが、各端末での設定によりリスト表示がソート条件も含めて任意におこなえるものとする。またデフォルト値を端末単位で制御できるものとする。たとえば未受付の病棟患者を病棟別に表示するなどが可能であること。
- 1.2.2 患者情報が変更された場合も<1.1.2>同様に、情報が連携されること。ただし、この連携は入力確定操作のタイミングとする。
- 1.2.5 身体情報が更新された場合も<1.1.2>に準拠した手段にて、情報が連携されること。ただし、この連携は入力確定操作のタイミングとする。

IHEによるRFP例

1.2.6 受付の方法を以下に示す

- ①リストバンドのバーコード(患者ID)をバーコードスキャナで読み取る
- ②診察券のバーコード(患者ID)をバーコードスキャナで読み取る。
- ④患者IDを受付処理画面に直接キーボード入力する。
- ⑤撮影室画面で患者名を選択し受付処理をする。

1.2.7 オーダ情報は、SWFに基づく情報連携を行なうこと。

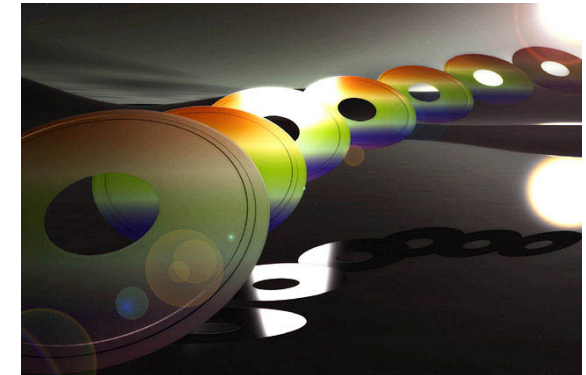
1.2.8 撮影機器に対し、SWFに基づき患者属性及び検査情報を送信すること。 なお、詳細な運用・手法については別途協議すること。

1.2.9 MPPSに関してもSWFに基づき連携すること。 なお、詳細な運用・手法については別途協議すること。

1.2.10 SWFに基づき、画像情報がサーバに保存され利用可能になったことが 臨床側でわかるようにすること。ただし、詳細な運用・手法については 別途協議すること。

IHEによるRFP例

- 1.3.1 画像情報は、PDIに基づき情報の入出力ができること。
- 1.3.2 画像サーバに送信されているHL7情報に紐付けて、画像情報を画像サーバに保存できること。
- 1.3.3 画像情報を出力する媒体には、汎用的なDICOMビューワも保存すること。
- 1.3.4 外部媒体に出力する画像情報を選択・一次格納する手法について。
 - (1) PACS上でスタディ・シリーズ・イメージ単位にて容易に選択することができること
 - (2) ログイン者で絞り込まれること
 - (3) 過去の情報が再利用(複写・削除)できること
 - (4) ステータス管理ができること
- 1.3.5 地域連携室にて、一括出力ができること。
- 1.3.6 台帳管理ができること。



プロセスデザイン

- 統合プロファイル単位
1年目: SWF,LSWF, PDI
2年目: PIR,LIR
3年目: EUA,PSA
4年目: XDS
- アクタ(トランザクション)単位(例SWF)
1年目: ADT,OP
2年目: OF
随時: Acq.Mod

まとめ

IHEを利用することで
要求仕様書の作成は簡単になるのか？

少なくともシステム間の相互運用は確保される → 省略

- 統合プロファイル、アクタ、トランザクション
- 何がやりたいか
- 範囲を決める
- 長期的なプラン
 - すべてを行なう必要はない

ご清聴ありがとうございました